

製品名: HER2 (リン酸化 Tyr1221/1222) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21108**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	人間
標識	ホスホ
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:138kD;Observed MW:185kD

抗原情報

遺伝子名	ERBB2 Receptor tyrosine-protein kinase erbB-2;Metastatic lymph node gene 19 protein;MLN
別名	19;Proto-oncogene Neu;Proto-oncogene c-ErbB-2;Tyrosine kinase-type cell surface receptor HER2;p185erbB2;CD antigen CD340;
遺伝子 ID	2064.0
SwissProt ID	P04626
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

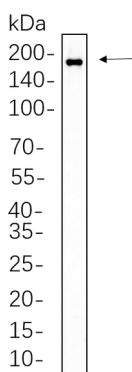
背景

細胞局在：膜。この遺伝子は、受容体型チロシンキナーゼである上皮成長因子（EGF）受容体ファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質は独自のリガンド結合ドメインを持たないため、成長因子と結合できません。しかし、リガンド結合型 EGF 受容体ファミリーの他のメンバーと強固に結合してヘテロ二量体を形成し、リガンド結合を安定化させ、マイトジェン活性化プロテインキナーゼ（MKI）やホスファチジルイノシトール 3 キナーゼ（PHKI）などの下流シグナル伝達経路のキナーゼによる活性化を促進します。アイソフォーム a のアミノ酸 654 位と 655 位（アイソフォーム b のアミノ酸 624 位と 625 位）における対立遺伝子変異が報告されており、最も一般的な対立遺伝子である Ile654/Ile655 をここに示す。この遺伝子の増幅および/または過剰発現は、乳がんや卵巣がんを含む多くの癌で報告されています。選択的スプライシングにより、いくつかの追加の転写バリエーションが生成され、その中には d をコードするものもある。

研究分野

-

画像データ



SK-BR-3 全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、膜を HER2（リン酸化 Tyr1221/1222）ウサギモノクローナル抗体（1:1000）でブロットニングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG（H + L）抗体を用いた。